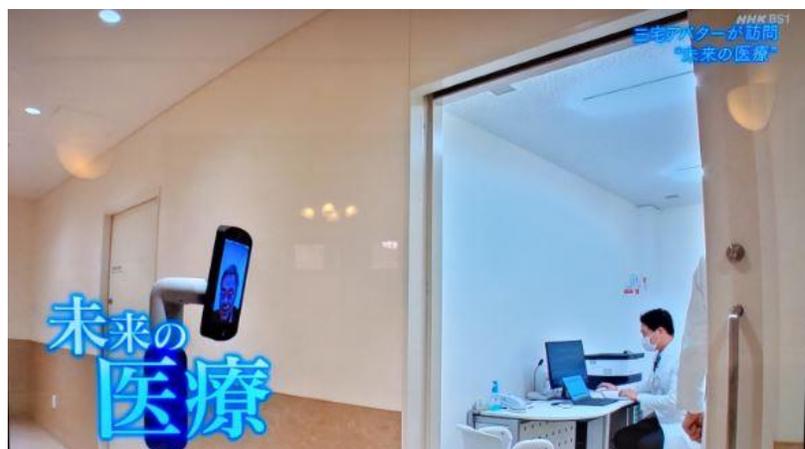


杜の都産業保健会がん発見率(2020年度)



NHK BS1スペシャル
『私たちのデジタル医療革命2021』
(2021.1.2)の中に当会一番町健診
クリニックが放映されました



丸岡 伸所長が胸部AI読影
補助装置開発に協力

がん検診の内容

当会では肺がんは胸部単純X線検査とCT検査、胃がんはバリウム造影検査および内視鏡検査、大腸がんは便の潜血反応検査、子宮がんは超音波、擦過細胞診検査、乳がんはマンモグラフィや超音波検査およびMRI検査などでがん検診を行っています。

要精密検査として外部医療機関に二次検査を依頼し、返事を頂いた件数と、当会クリニックにて二次検査を行った件数について解析しました。したがって**限られた件数の解析**です。

二次検査は肺ではCTや気管支鏡検査、胃や大腸では内視鏡検査を行い、病理組織検査でがんと判明した例を解析しています。

2020年度がん発見率

| | | | 肺がん | 胃がん | | 大腸がん | 乳腺 | | 子宮がん |
|-----------------|---|----------------------|---------|--------|-------|--------|---------|-------|-------|
| | | | | X線 | 内視鏡 | | マンモグラフィ | 超音波 | |
| 実施件数 | A | | 135,516 | 40,457 | 3,161 | 60,670 | 6,470 | 4,252 | 9,667 |
| 要精検数 | B | | 1,839 | 784 | 74 | 2,841 | 375 | 100 | 104 |
| 要精検率(B/A) | | | 1.4% | 1.9% | 2.3% | 4.7% | 5.8% | 2.4% | 1.1% |
| 精検結果判明数 | C | 総数 | 673 | 316 | 63 | 741 | 313 | 66 | 56 |
| | D | 要精検数中の比率(C/B) | 36.6% | 40.3% | 85.1% | 26.1% | 83.5% | 66.0% | 53.8% |
| | | (外部医療機関) | 516 | 201 | 27 | 581 | 301 | 64 | 40 |
| | | (一番町クリニック) | 157 | 115 | 36 | 160 | 45 | 2 | 16 |
| | | | | | | | | | |
| がん組織確定 | E | | 16 | 10 | 3 | 18 | 9 | 3 | 1 |
| 報告数中癌発見率 | F | E/C | 2.4% | 3.2% | 4.8% | 2.4% | 2.9% | 4.5% | 1.8% |
| 総受診者中のがん発見率(推計) | G | $E/(A \times D/100)$ | 0.03% | 0.06% | 0.11% | 0.11% | 0.16% | 0.11% | 0.02% |

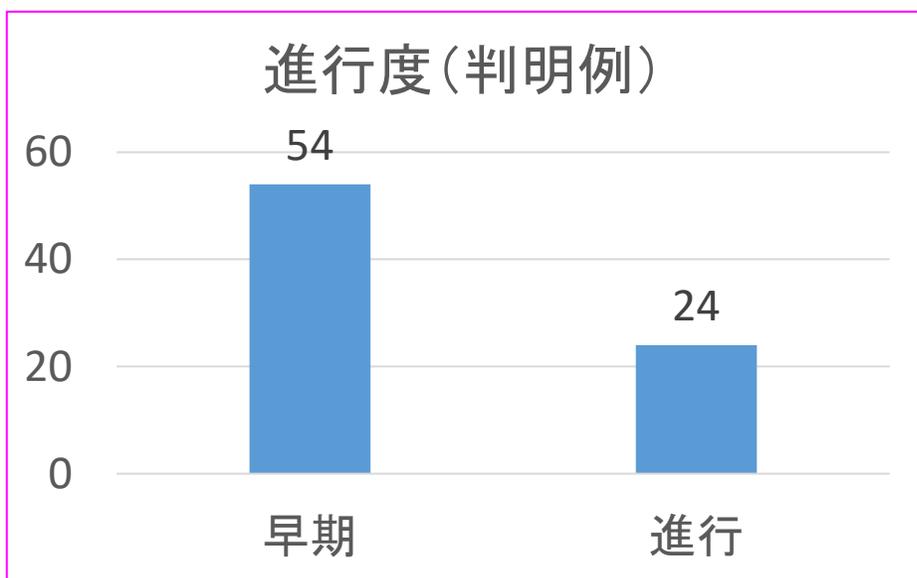
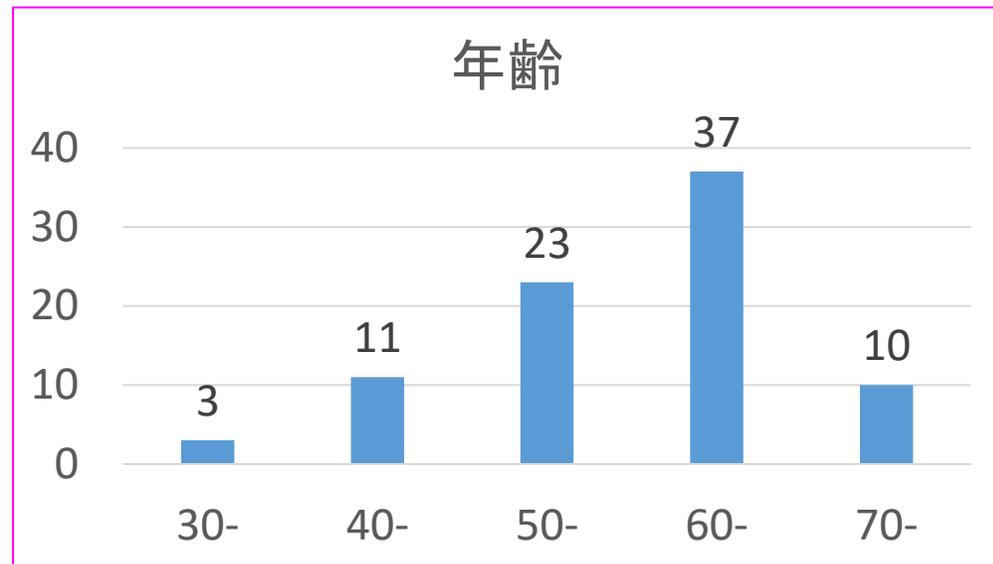
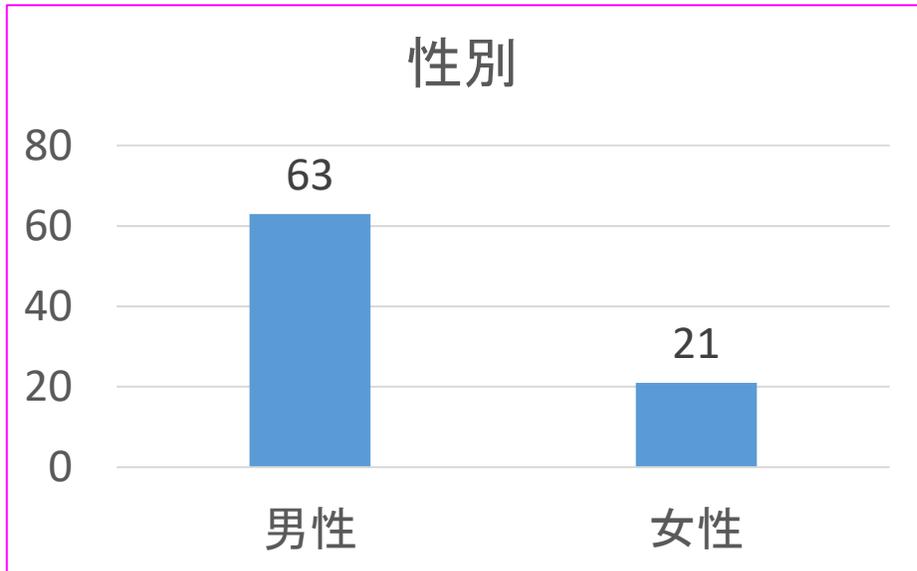
まとめ

- 受診者数は肺13.5万人、胃4万人、大腸6万人、乳腺1万人、子宮0.9万人でした。
- 要精検率は肺1.4%、胃1.9%、大腸4.7%、乳腺5.8%、子宮1.1%でした。
- そのうち最終結果が得られたのは一部を除き、26～40%でした。ほとんどの医院からの結果報告は得られているようですので、**半数以上の方が精密検査を受けていない!**と考えられます。
- **肺がん16例、胃がん(X線)10例、大腸がん18例、乳癌12例、子宮がん1例**が発見されました。
- 結果判明率から補正して得られた総受診者中のがん発見率は**肺がん0.03%、胃がん(X線)0.06%、大腸がん0.11%、乳癌0.16%、子宮がん0.02%**でした。
- 当会の5大がん発見率はおよそ**0.03%～0.1%**と推定されます。

肺がん胸部単純X線検査（過去5年度との比較）

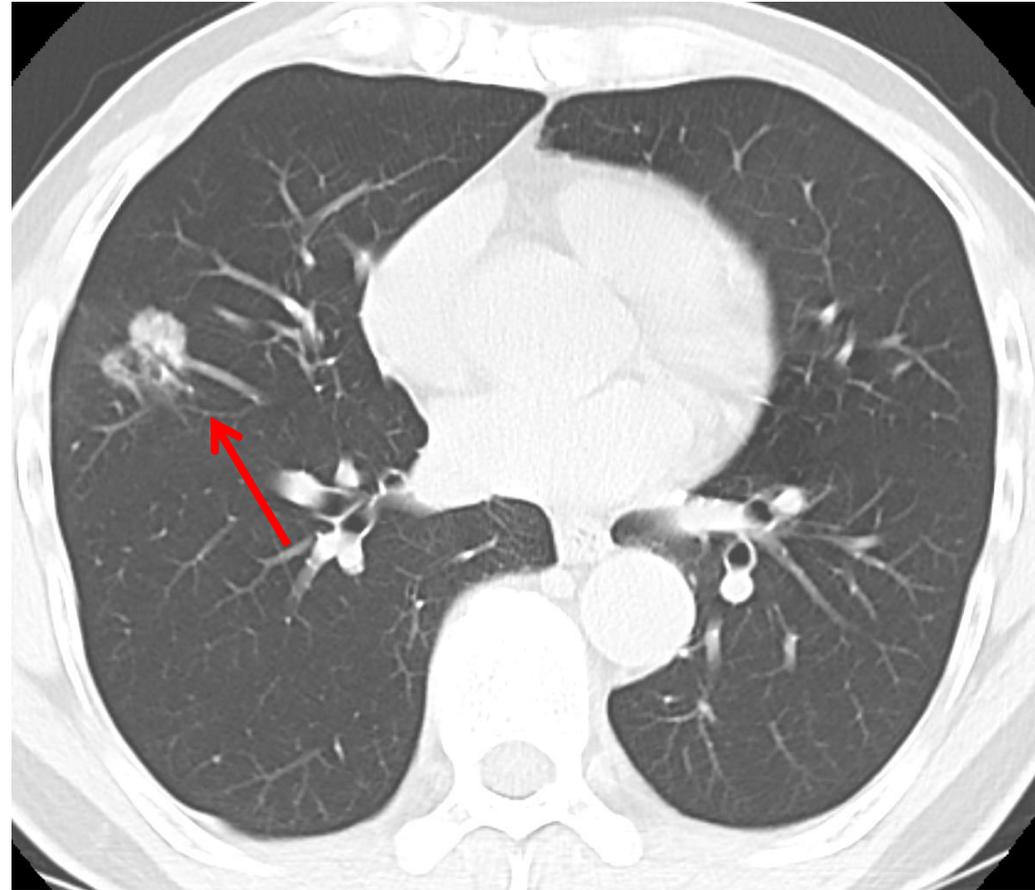
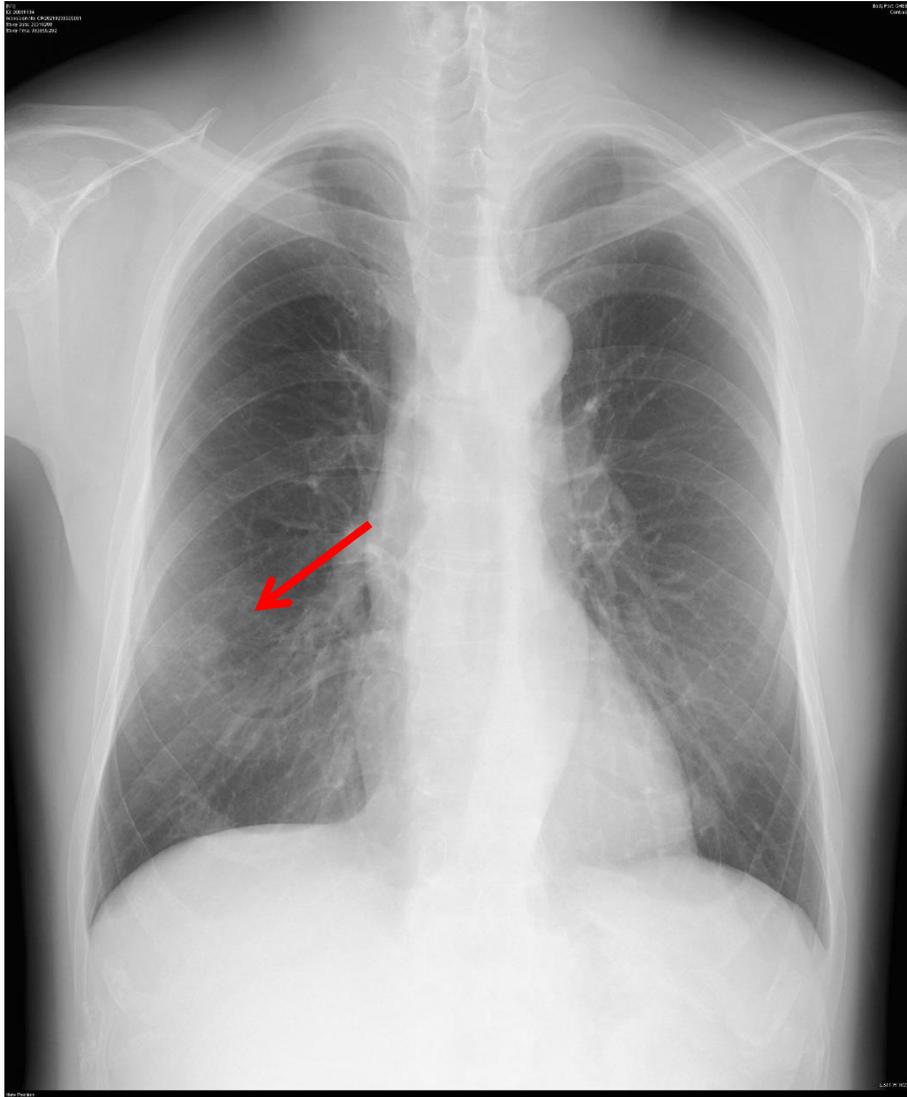
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総数 | 135,875 | 135,178 | 135,285 | 140,276 | 135,516 |
| 要精検数 | 1,147 | 1,159 | 1,308 | 1,902 | 1,839 |
| 要精検率 | 0.8% | 0.9% | 1.0% | 1.4% | 1.4% |
| 結果判明数 | 425 | 672 | 573 | 746 | 673 |
| がん確定数 | 11 | 15 | 12 | 14 | 16 |
| がん発見率 | 0.02% | 0.02% | 0.02% | 0.03% | 0.03% |

肺がん 2015-2020年度データの解析

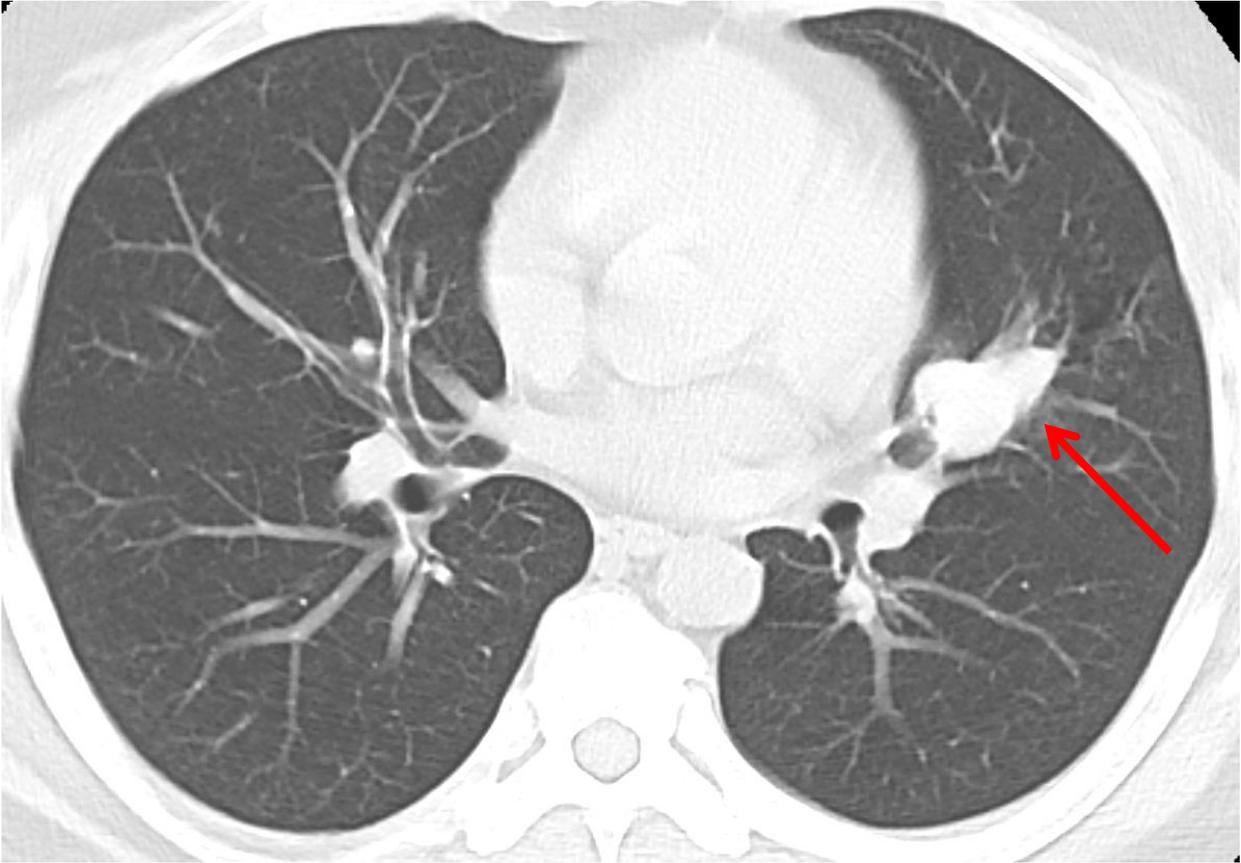
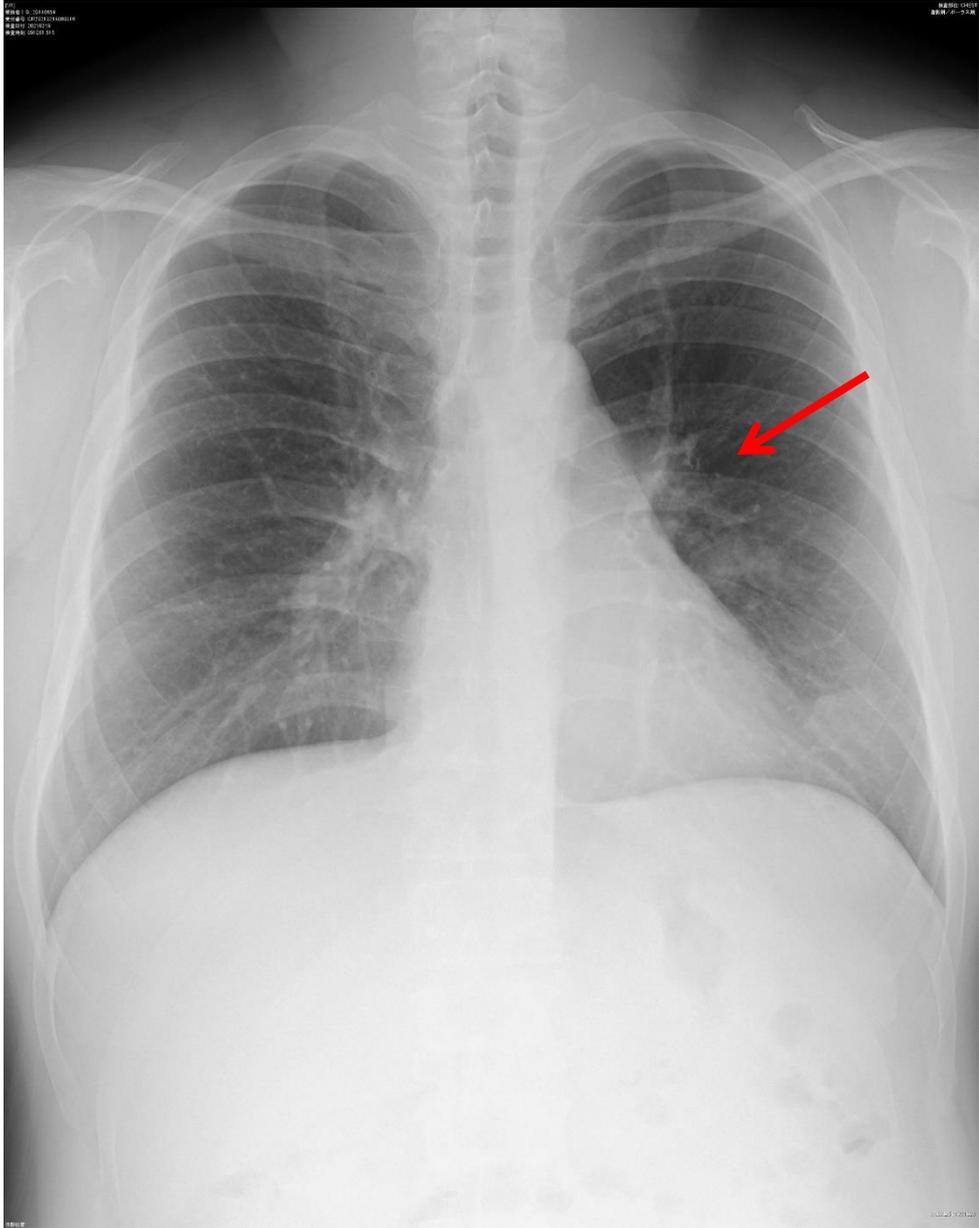


肺がんは男性に多く、**30歳代、40歳代の肺がん**の方もいました。多くが早期癌で発見されていますが、要精検とされたのに病院を受診せず、進行癌で再発見された方もいます。

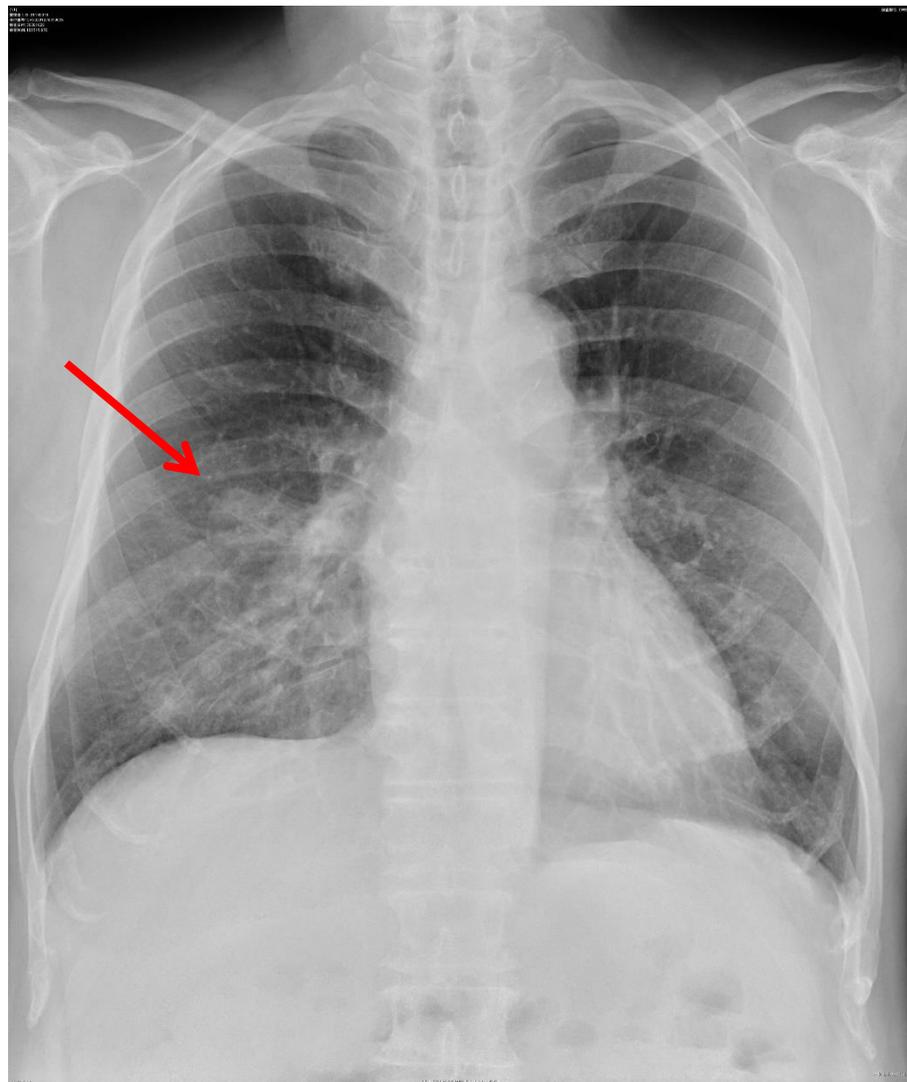
肺癌症例 47歳男性



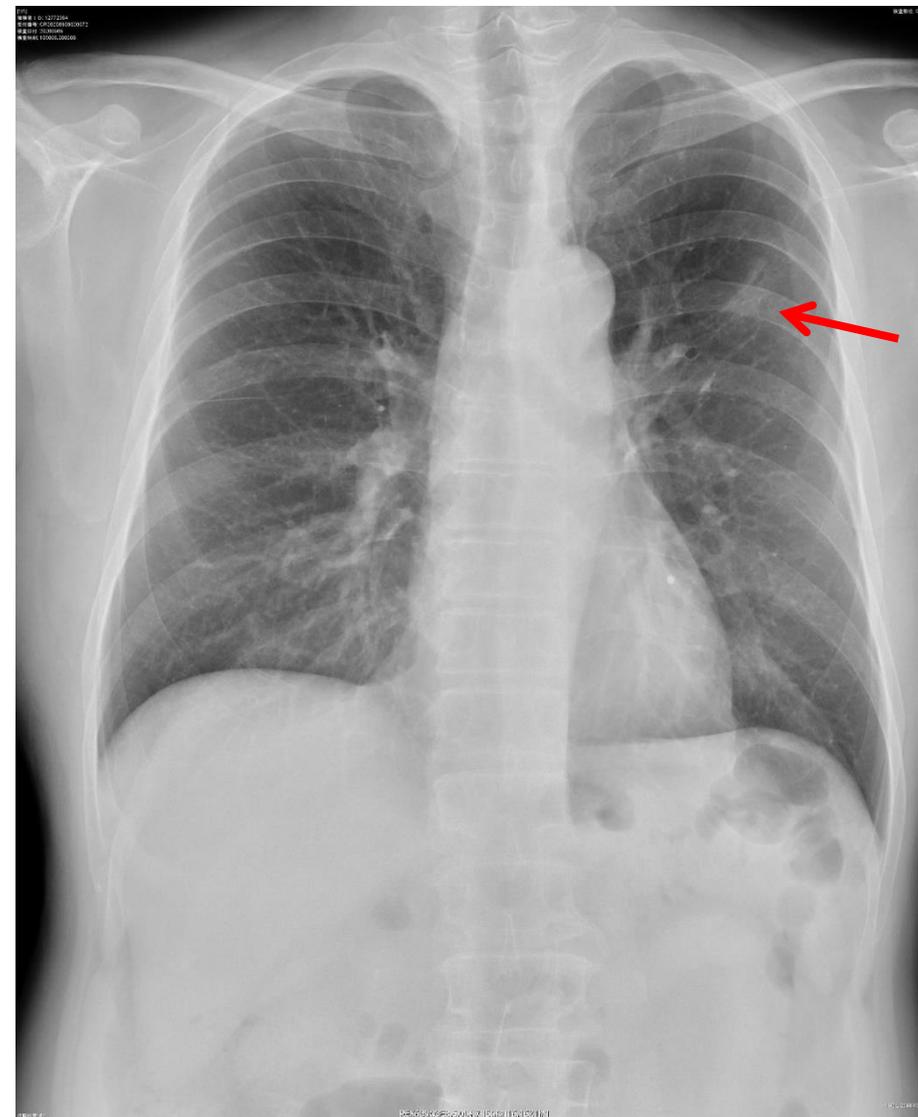
肺癌症例 40歳男性



肺癌症例 68歳男性



肺癌症例 69歳男性

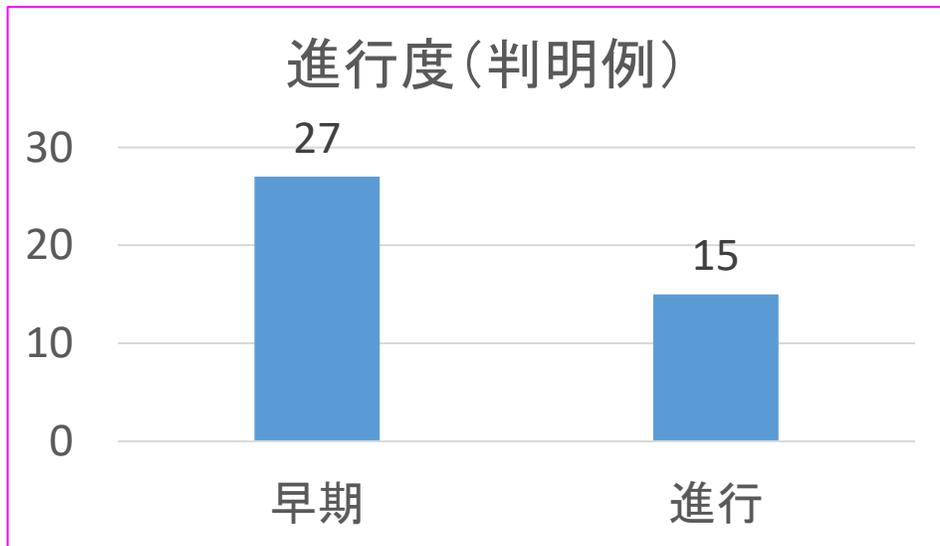
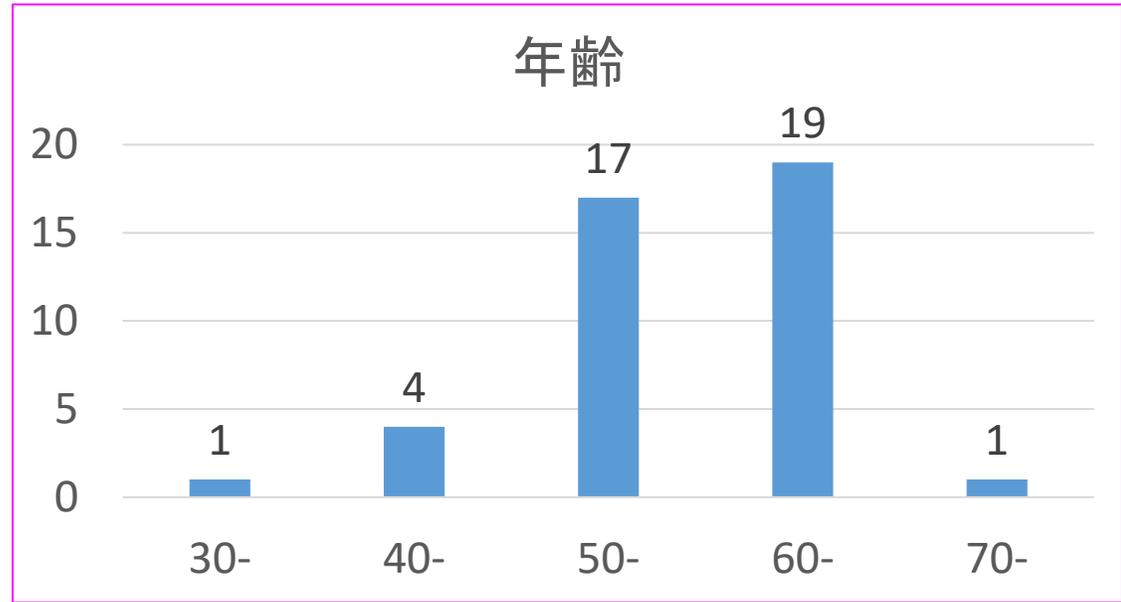
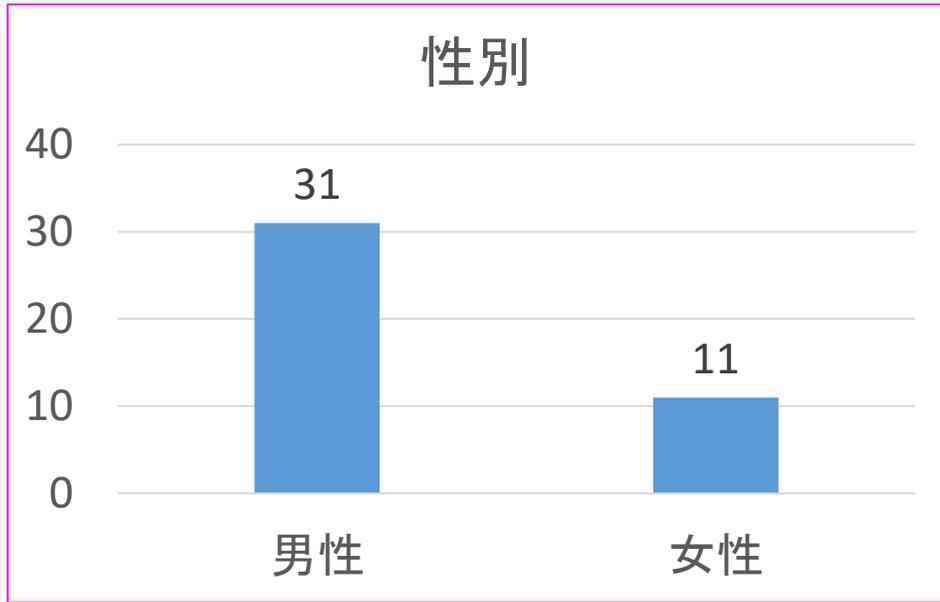


胃がんX線検査（過去5年度との比較）

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | 41,127 | 38,058 | 36,868 | 43,203 | 40,457 |
| 要精検数 | 1,073 | 1,032 | 777 | 687 | 784 |
| 要精検率 | 2.6% | 2.7% | 2.1% | 1.6% | 1.9% |
| 結果判明数 | 355 | 484 | 382 | 284 | 316 |
| がん確定数 | 4 | 4 | 6 | 9 | 10 |
| がん発見率 | 0.03% | 0.02% | 0.03% | 0.05% | 0.06% |

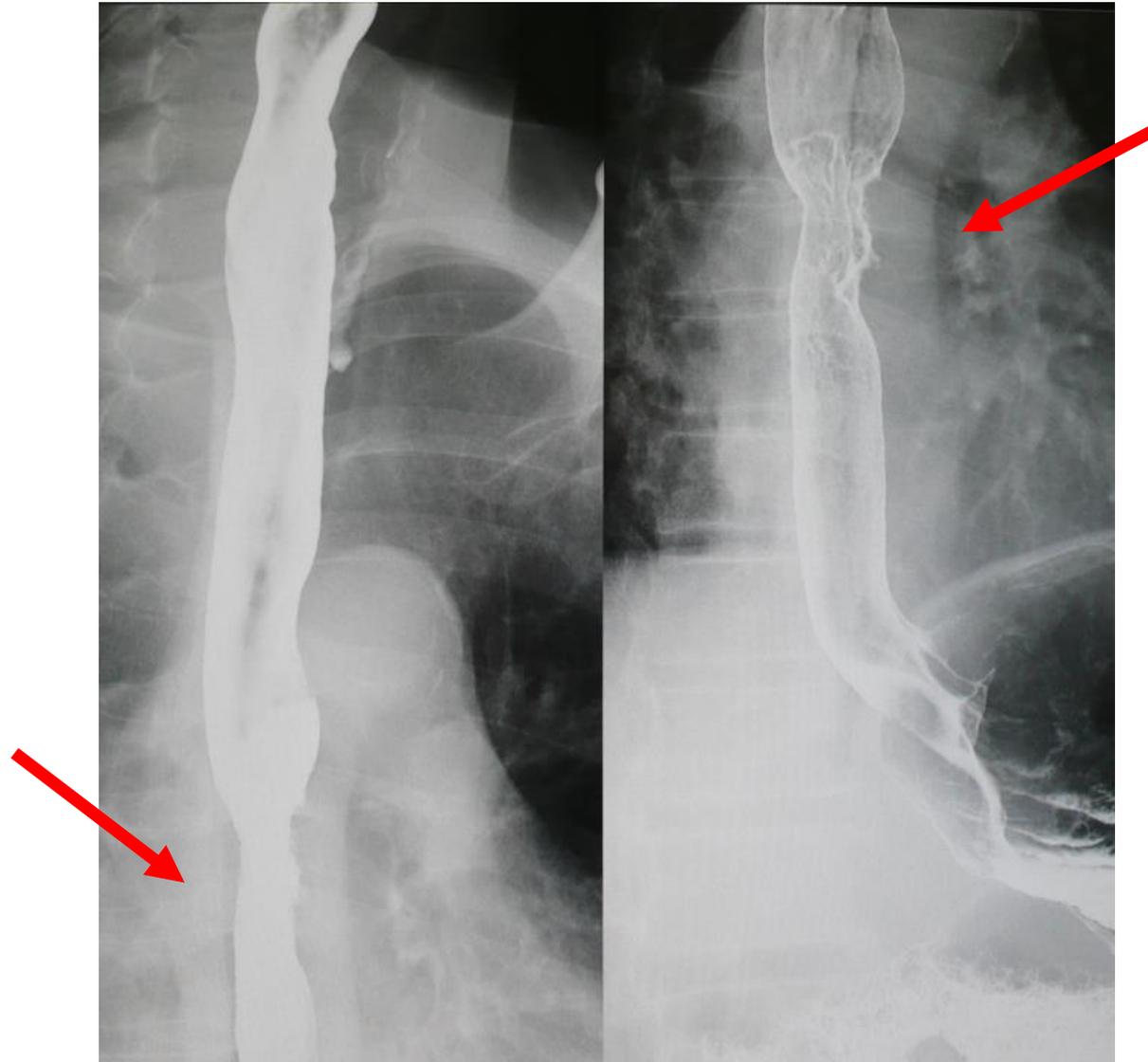
胃がん

2015-2020年度データの解析



胃がんも男性に多く、**30歳代の胃癌**の方もいました。多くが早期癌で発見されています。1年で急速に進行した方もおられます。ほとんどが無症状で、胸やけ、空腹時痛各1例のみでした。

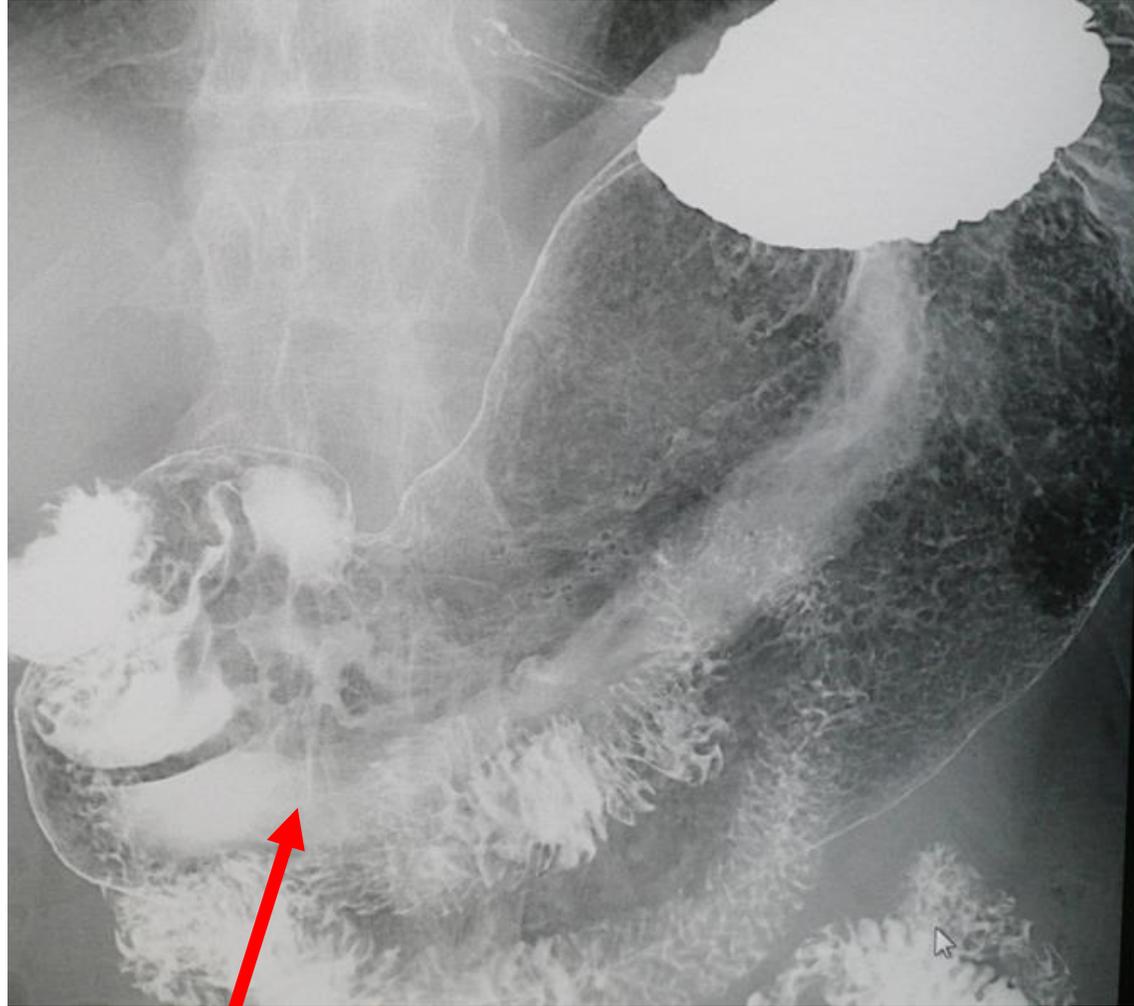
食道癌症例 61歳男性



胃癌症例 52歳女性



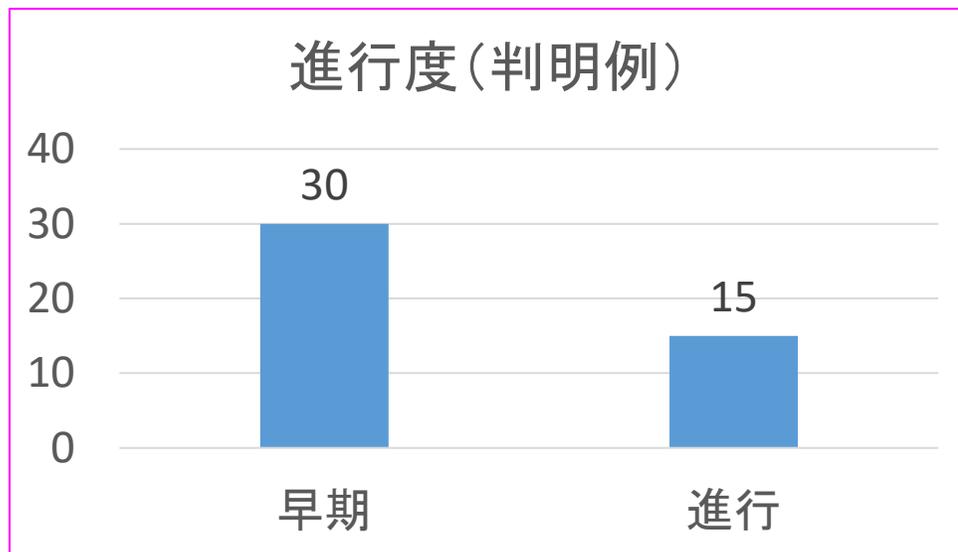
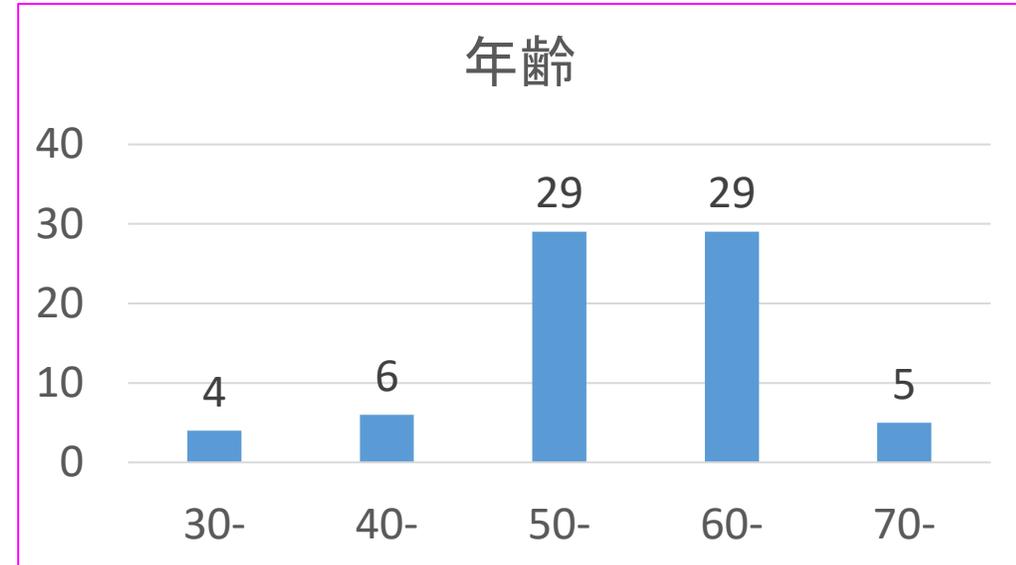
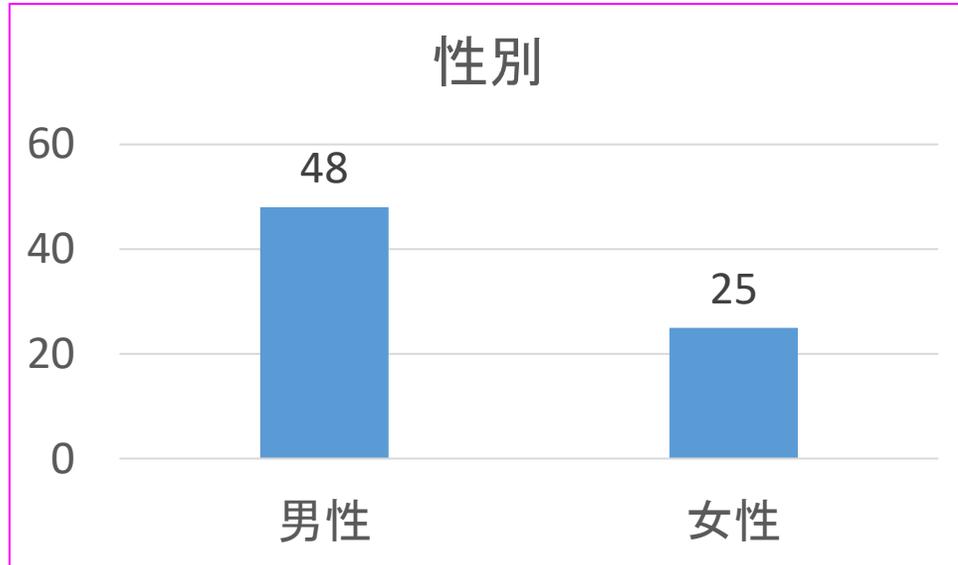
胃癌症例 64歳男性



大腸がん便潜血検査（過去5年度との比較）

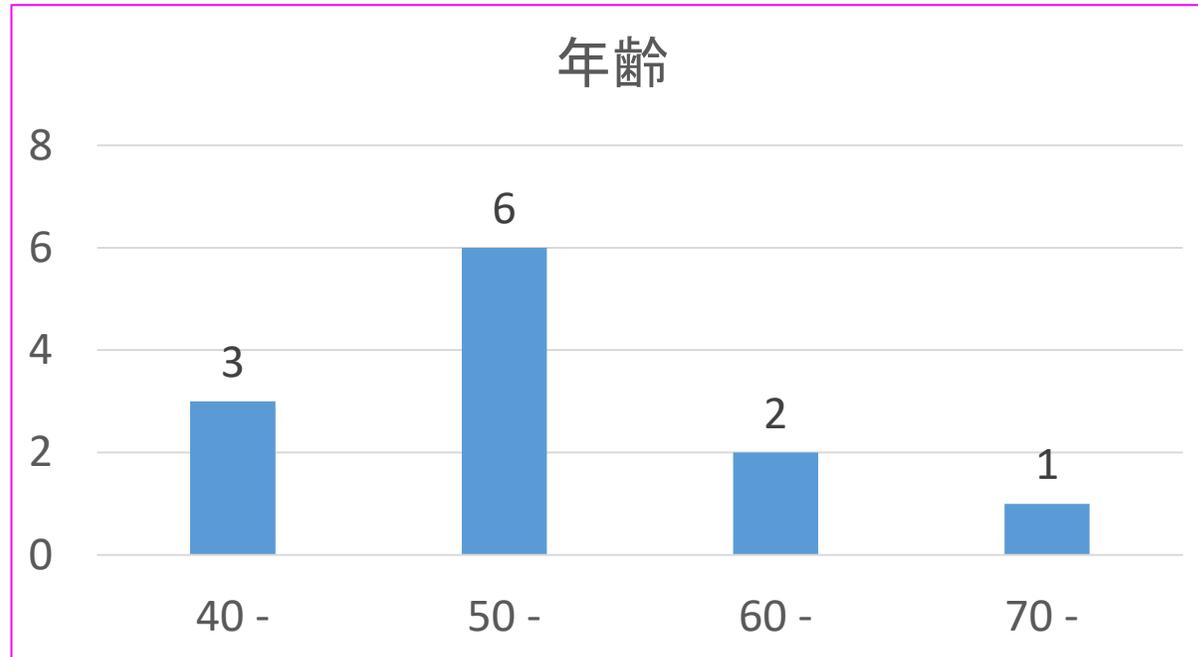
| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総数 | 49,920 | 51,226 | 56,367 | 60,805 | 60,670 |
| 要精検数 | 2,938 | 3,446 | 3,007 | 3,525 | 2,841 |
| 要精検率 | 5.9% | 6.7% | 5.3% | 5.8% | 4.7% |
| 結果判明数 | 616 | 1,152 | 776 | 874 | 741 |
| がん確定数 | 7 | 13 | 11 | 16 | 18 |
| がん発見率 | 0.07% | 0.08% | 0.08% | 0.08% | 0.11% |

大腸がん 2015-2020年度データの解析



大腸癌も男性に多く、**30歳代の大腸癌**の方もいました。多くが**早期癌**で発見されています。**便潜血反応と関係なく5~10年に一回大腸内視鏡検査あるいは大腸CT検査を受けると、有意に生存率が向上するとされています。**

乳がん 2020年度データの解析



女性で最も多いがんで、若年層に多い傾向がみられます。

まとめ1

- コロナ禍の検診でしたが、受診者数やがん発見率に大きな変化は認められませんでした。
- **要精密検査の約2～5%**の方に肺がん、胃がん、大腸がん、乳がんなどが発見されています。
- 大半は早期癌で発見されています。
- 進行癌で発見された方も、ほとんどの方が無症状でした。

まとめ2

- 肺がん、胃がん、大腸がんは30歳代にも発見されています。**40歳からがん検診**は必ず受けましょう。
- 精密検査を指摘されたのに放置している方が多数おられます。**無症状でも必ず精密検査を受けて下さい！**
- 数年検診をスキップした間に進行癌になった方もおられます。がん検診は**毎年必ず**受診しましょう。

<参考>

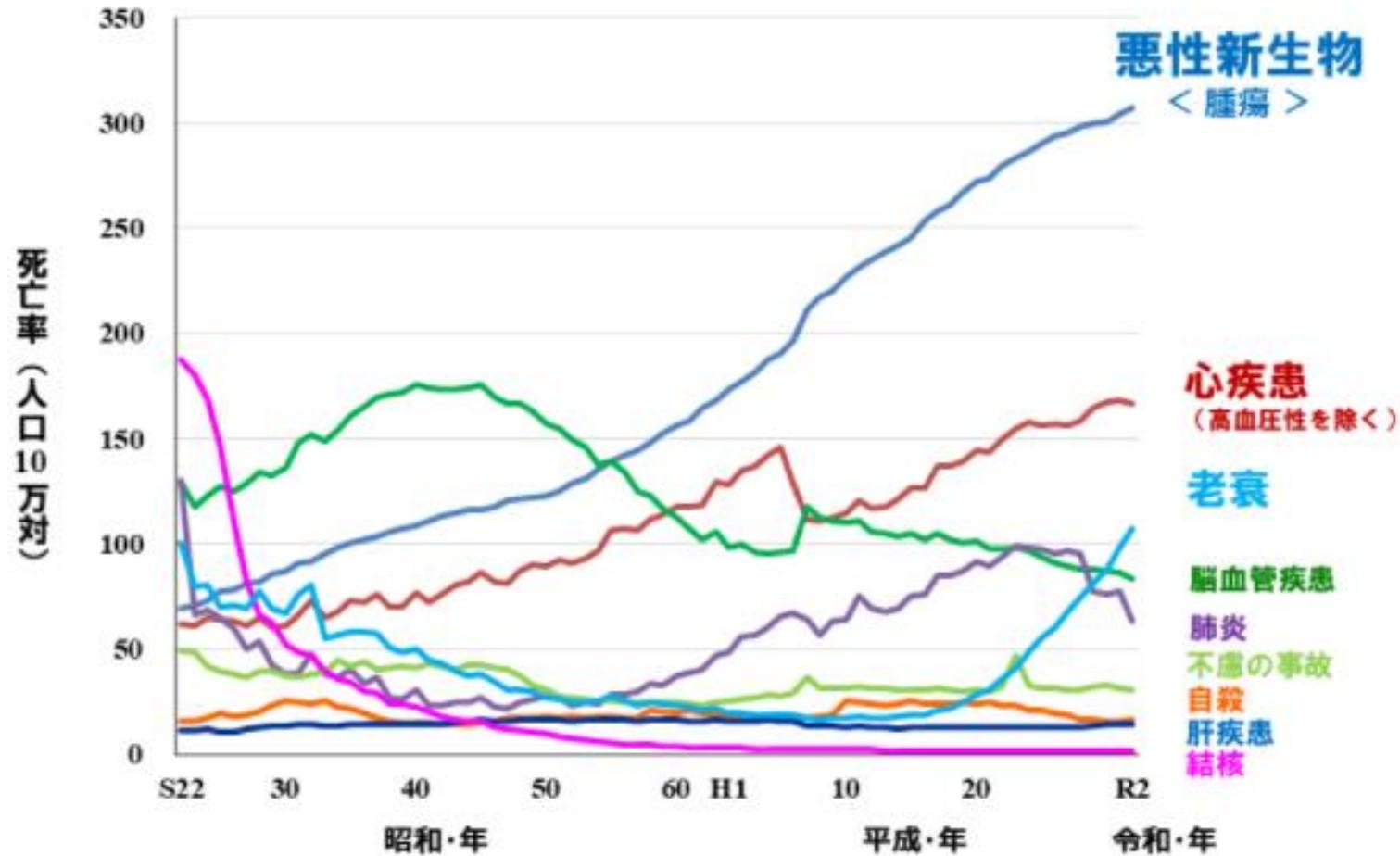
“がん”による死亡数

2019年にがんで死亡した人は

376,425人

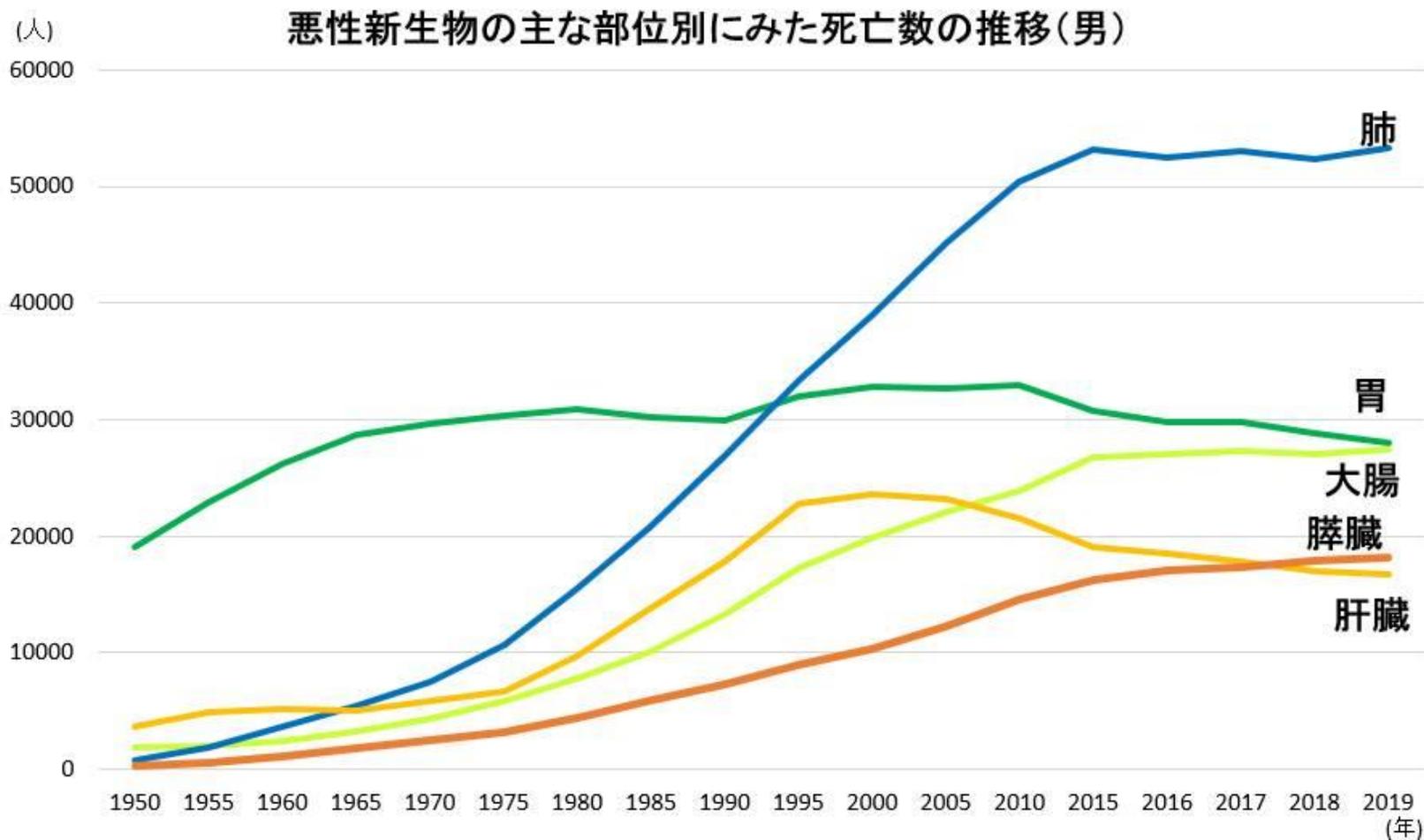
(男性220,339人、女性156,086人)

死因の第1位は“がん”で、年々増えています！



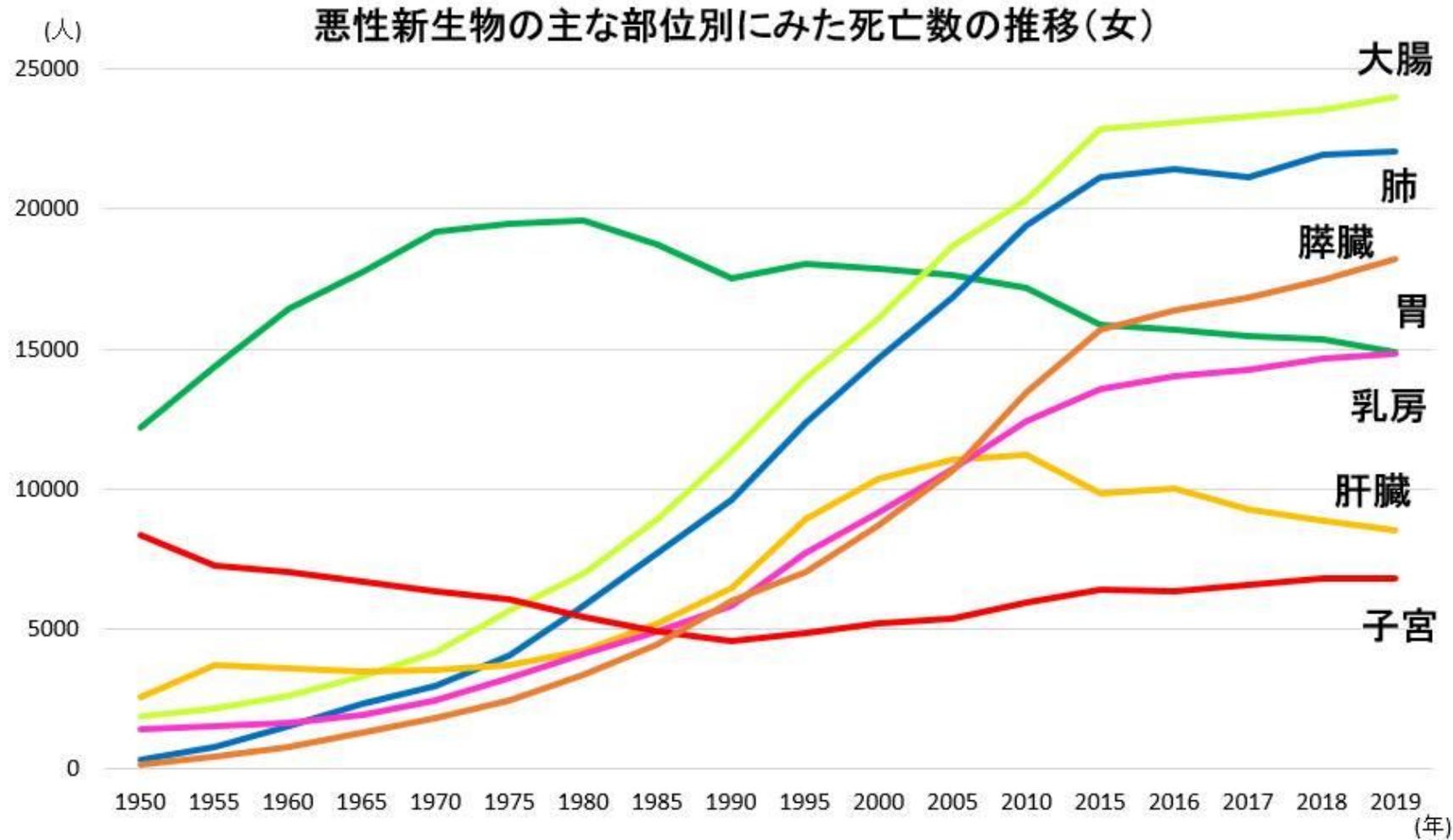
死因別に見た死亡率の年次推移:「令和2年(2020年)人口動態統計月報年計(概数)」(厚生労働省)

男性で死亡率の最も高いのは肺がんです！



悪性新生物の主な部位別にみた死亡数の推移 (2019年
人口動態統計確定数 厚労省)

女性で死亡率の最も高いのは大腸がんです！



悪性新生物の主な部位別にみた死亡数の推移 (2019年人口動態統計確定数 厚労省)

“がん”にかかった数（罹患数）

2018年に新たに診断されたがんは

980,856例

（男性558,874例、女性421,964例）

罹患数が最も多いのは男性は前立腺癌、女性は乳癌！

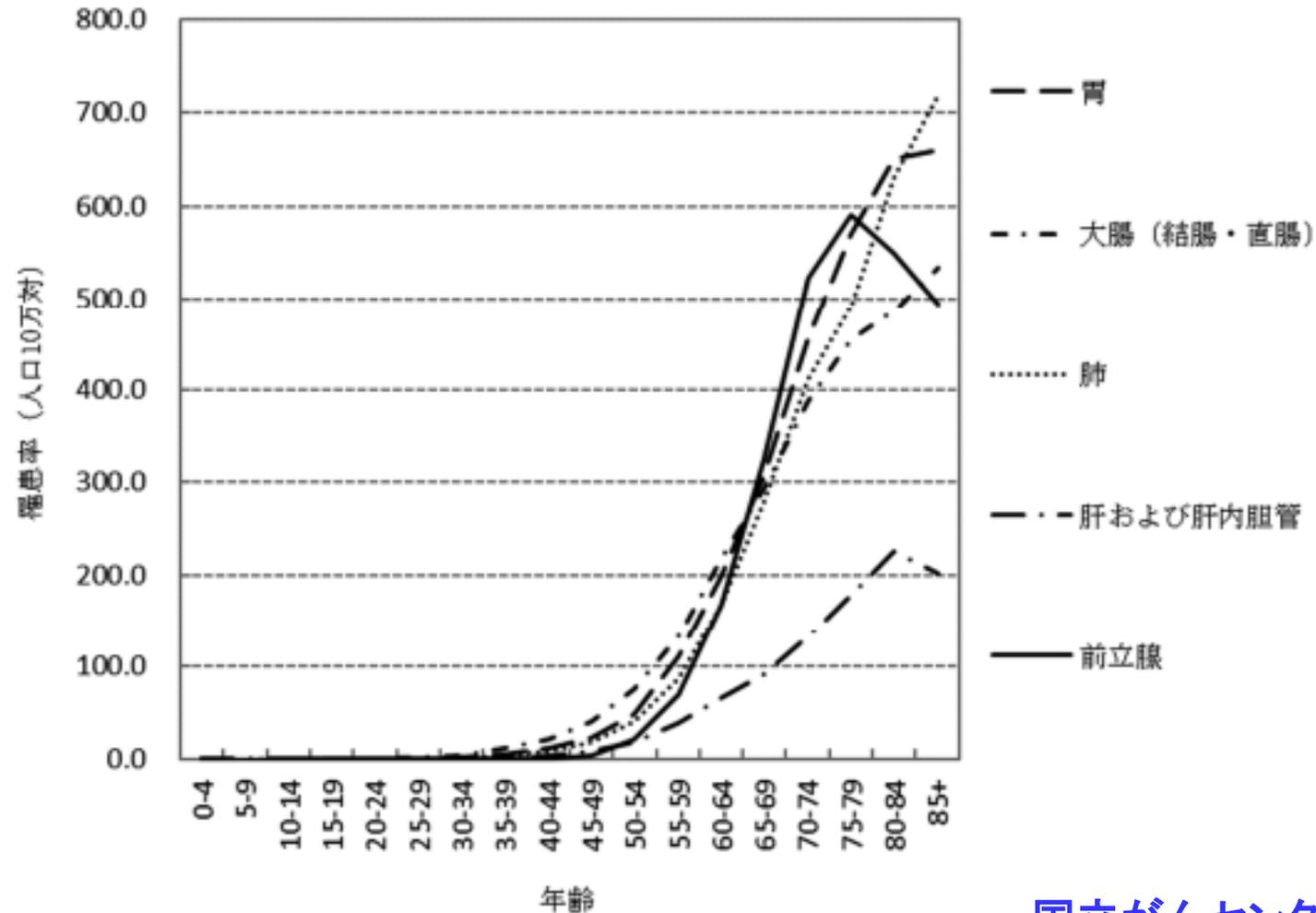
がん罹患数の順位（2018年）

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|----|-----|----|----|----|-----|--------------------------|
| 総数 | 大腸 | 胃 | 肺 | 乳房 | 前立腺 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸6位 |
| 男性 | 前立腺 | 胃 | 大腸 | 肺 | 肝臓 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸5位 |
| 女性 | 乳房 | 大腸 | 肺 | 胃 | 子宮 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸2位、直腸7位 |

元データ：[全国がん登録罹患データ](#)  (numberシート)

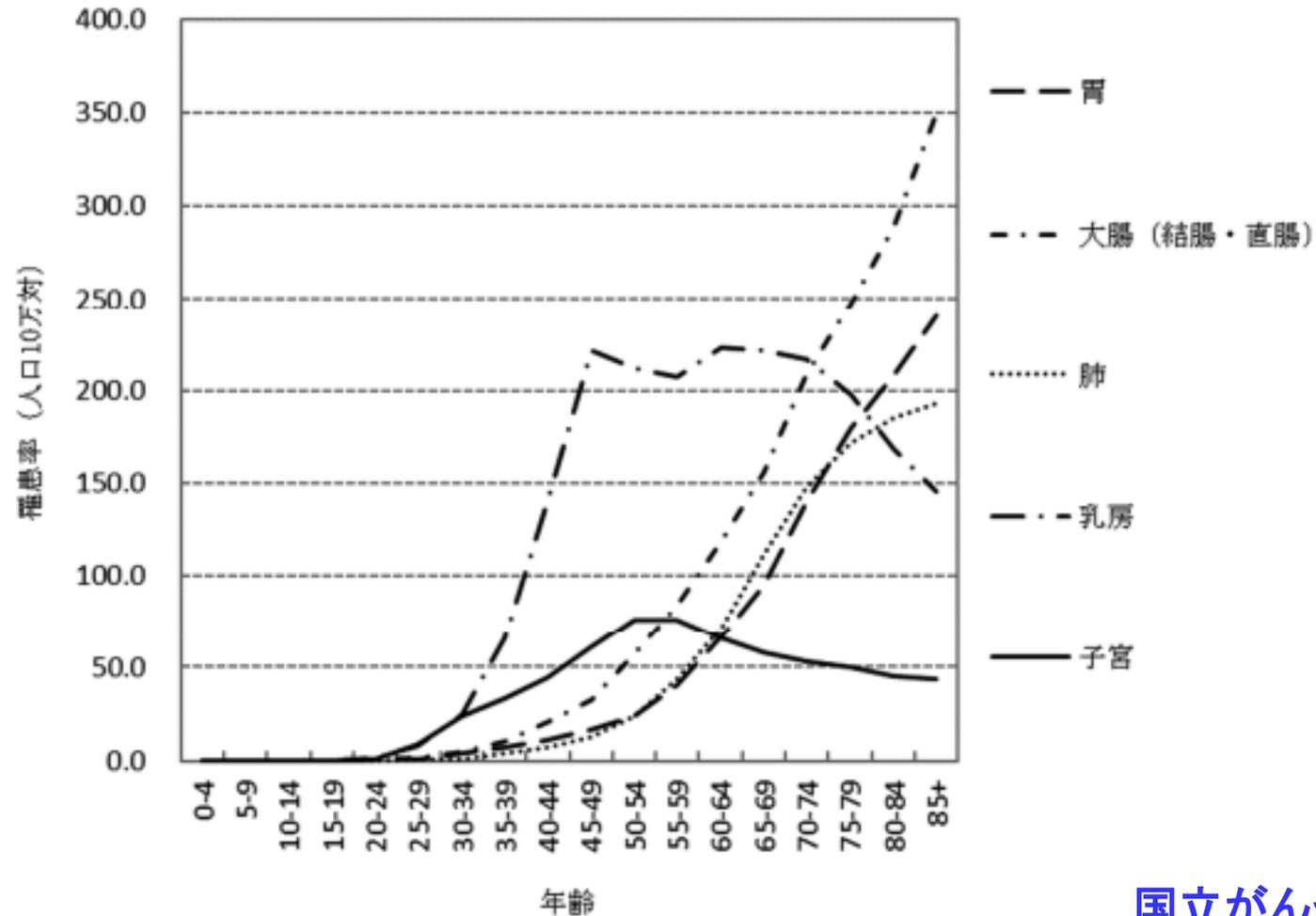
年齢とがん罹患率(男性)

男性は年齢とともにすべてのがんの罹患数が増加する！



年齢とがん罹患率(女性)

女性の乳がんと子宮がんは、若年層に多い！



がん10年生存率

国立がんセンター発表 2021.11

| 肺がん | | NHK |
|-------|-------|-----|
| ステージ1 | 67.6% | |
| ステージ2 | 34.5% | |
| ステージ3 | 13.1% | |
| ステージ4 | 2.1% | |
| 全体 | 33.6% | |

| 胃がん | | NHK |
|-------|-------|-----|
| ステージ1 | 90.3% | |
| ステージ2 | 57.0% | |
| ステージ3 | 37.2% | |
| ステージ4 | 5.8% | |
| 全体 | 67.3% | |

早期発見が大事です！

がん10年生存率

国立がんセンター発表 2021.11

女性の乳がん

NHK

| | |
|-------|-------|
| ステージ1 | 98.3% |
| ステージ2 | 88.7% |
| ステージ3 | 66.6% |
| ステージ4 | 18.5% |
| 全体 | 87.5% |

子宮頸がん

NHK

| | |
|-------|-------|
| ステージ1 | 88.8% |
| ステージ2 | 68.0% |
| ステージ3 | 51.7% |
| ステージ4 | 19.6% |
| 全体 | 68.2% |

早期発見が大事です！

がん10年生存率

国立がんセンター発表 2021.11

| 大腸がん | | NHK |
|-------|-------|-----|
| ステージ1 | 94.8% | |
| ステージ2 | 83.0% | |
| ステージ3 | 76.2% | |
| ステージ4 | 13.8% | |
| 全体 | 69.7% | |

| 前立腺がん | | NHK |
|-------|--------|-----|
| ステージ1 | 100.0% | |
| ステージ2 | 100.0% | |
| ステージ3 | 98.5% | |
| ステージ4 | 45.0% | |
| 全体 | 99.2% | |

早期発見が大事です！

まとめ

- 当会のがん発見率はおおよそ0.03～0.1%です。
- 最も**死亡率**の高いがんは**男性では肺がん、女性では大腸がん**です。
- 最も**かかりやすい**がんは**男性では前立腺癌と胃がん、女性では乳がん**と**大腸がん**です。
- **早期で発見**すれば多くのがんは90%以上治癒します。
- がんを早期発見するためには**毎年検診を受け**、精密検査を指摘されたら必ず精密検査を受けましょう。